

講義科目 : 社会福祉運営管理論 担 当 : 三宅 浩	単 位 数 : 2 学習形態 : 選択科目 (70期生) : 自由選択科目 (69・68・67期生) 社会福祉士必修科目 実務経験 : 有
--	--

講義の内容・方法および到達目標

社会福祉法第5条で、社会福祉を目的とする事業を経営する者への「福祉サービスの提供の原則」が明記されています。つまり、福祉サービスを提供する組織の経営姿勢と福祉サービスの質とは深い関係性があると考えます。

社会福祉事業に多彩な事業者が参入してきている現在、福祉サービスを利用する立場と提供する立場の両面から現状の課題を比較しながら、福祉サービスの質について考えていきたい。

福祉事業を運営する側の視点から利用者本位のサービスとはどのようなものか理解することを到達目標とします。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション (社会福祉サービスを提供する組織とは)
- 第2回 社会福祉サービスを提供する組織の体系
- 第3回 社会福祉法人制度の概要
- 第4回 公的責任と社会福祉法人等民間団体が果たす役割
- 第5回 社会福祉法人の役割と経営理念
- 第6回 社会福祉施設の体系と役割
- 第7回 社会福祉施設の事業計画作りと実行
- 第8回 社会福祉施設の人事・労務管理
- 第9回 社会福祉施設の財務管理
- 第10回 社会福祉施設のリスクマネジメント
- 第11回 チームとしての職員集団
- 第12回 コンプライアンスとガバナンス
- 第13回 福祉サービスの提供と質の評価
- 第14回 人材確保と人材育成
- 第15回 まとめ (福祉サービスの提供主体となる組織と役割、そこで働く意義などについて総まとめを行う)

教材・テキスト・参考文献等

講義内容に応じた資料、レジュメを適宜配布します。

成績評価方法

全授業回数の3分の2以上の出席が必要で、成績は定期試験70%、小テスト(2回実施)20%、出席状況や学習態度10%として評価します。

実務経験

知的障がい者施設及び高齢者施設の現場で約36年。その他社会福祉法人の庶務業務や社会福祉法人並びにNPO法人の立ち上げにも携わってきました。これらの経験をもとにその時代の福祉施設の状況なども伝えていければと思っています。

その他

事業の運営管理を学ぶことは、卒業後仕事をしていく上でそのサービスを利用する立場とそこで働く立場の両面から事業運営を見ていく必要があります。今の時代のニーズに沿った利用者にとって利用しやすい事業所、提供者側にとって力を発揮しやすい事業所とは、について学んでいきたいと考えています。